

由井 浩

ト ー ハ ク の 春

3月後半に、一般開放されている上野の東京国立博物館の庭園がテレビで放映されているのを見た。数年前にこの博物館の門のところで、格調高い建物を背景に咲いている桜の花の写真を撮ったことがあった。その時にいつかこの博物館の広い敷地の中を探検してみたいと思ったので、庭園が一般開放されているこの機会に念願をかなえ、ゆっくり探検することにした。

3月末に JR 上野駅の公園口から降りて上野公園の北東側にある博物館に向かった。正門から敷地内に入ると、正面に建っている本館の玄関の右の壁面に掲げられた“博物館でお花見を”の大垂れ幕が和やかに迎えてくれた。



本館裏の庭園の春

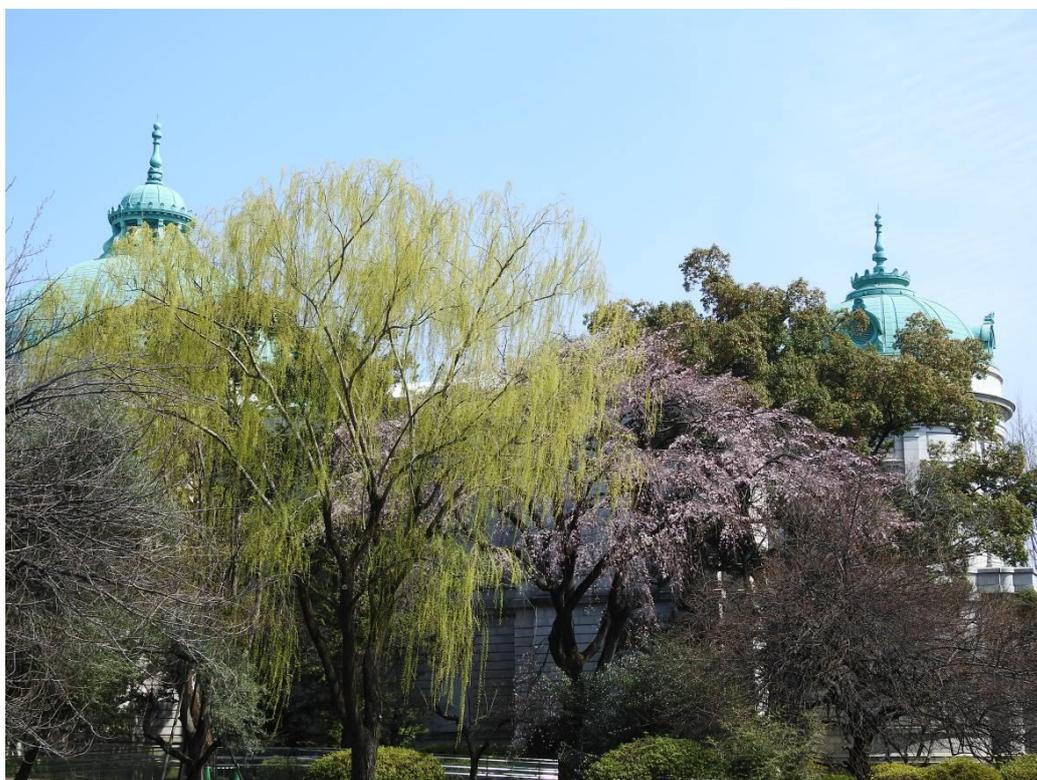
本館の右手にある入口から庭園の中に入り、本館の裏側に回ると、池の周囲を回遊できる大きな庭に出た。本館のすぐ裏手で咲くシダレザクラが丁度見頃で、多くの来園者が移動車に設営された“さくらカフェ”で買ったコーヒーを飲んだり、ホットドッグを食べたりしながらお花見を楽しんでいた。

いったん本館前の広場に戻り、本館の西側に建っている明治時代末期の洋風建築を代表する表慶館の姿をゆっくり眺めた。表慶館の中央と左(南)・右(北)の両端には緑青色の銅板瓦のドームがあり、この建物のシンボルとなっている。

今回も数年前と同じように、南端のドームをバックにソメイヨシノの写真を撮った。花はまだ3分咲きだったが、カメラを通してアップにして見ると、華やかな季節の到来を感じることができた。



表慶館の裏側の庭に回ると、柳の新緑と咲き誇るシダレザクラが2つのドームを後ろに従えて春の慶びを表現していた。



表慶館裏庭の春

庭園を見終えてから館のパフレットを見ると、表紙に“春、トーハク 特別な出会い”というキャッチフレーズが書かれ、トーハク：東京国立博物館 自慢の庭園のお花見と本館展示室の桜に関連する代表作の鑑賞を熱心にPRしていた。

せっかくなので展示の方も見ることにして本館の中に入った。広い館内のあちこちに分かれて展示されている代表作10点を早足で全部見て回った。

パフレットの裏表紙に“桜満開！！ トーハクだけの特別なお花見 楽しめます！！”と書かれていた。桜は一部のシダレザクラ以外は満開ではなかったが、トーハクの特別な春を十分堪能することができた。